

## 森りょうじ リポート。(57号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

新年度予算442億円の審査を終えて。

今年度の皆さんからお預かりする税金は442億円。皆さんだったらどのような予算配分を行いますか。

現在、本市では放射能問題への対応を望む声が多いです。平成24年度はこの点に力を注いでおり、その他としては都市基盤整備、緑地保全、教育や子育て支援にも予算の充実が図られています。

一方、安定的な財政運営のための積立（基金と言います）の確保が必要であり、同時に過去の借金を返済していくことも重要です。

そのような視点を持ち4日間の議論に臨んだ中で、議会全体として19件（全議員から198件）の指摘・要望を行政側に求めました。今後は適正な予算執行を監視していきます。（詳細は議会HPや録画をご覧ください）

“うんがいい！朝市”をお手伝い中。

現在、市内各所では市民の皆さんが主体となり、様々な企画・イベントが開催されています。私は毎月第4土曜日（AM8:00～）に運河水辺公園で開催されている朝市のお手伝いをしています。もちろん設営のサポートが主たる業務ですが、そこに参加する自営業者や農家の方々とのコミュニケーションも楽しみです。

市内商工業の活性化、農家の高齢化や遊休地拡大、また両業種に共通する後継者不足の問題などは、単なる消費者としての立場では気付かなかった点であり、色々と学ばされます。政治の場でどのように改善を図るべきかのヒントになると思います。

# 森 森 り り よ よ う う じ

## 森 が 動 く。



### 流山市議会議員

Facebook や Twitter。私の政治活動でも皆さんと気軽にコミュニケーションできるネット技術を可能な限り取り入れています。これにより多様な意見や考えをお聞きできることは大変便利です。ただ便利さや気軽さが感じられる反面、これだけに頼って皆さんと向き合うだけでは軽薄さを感じるのも事実。上手に使いこなしたいものです。

1976年6月12日流山生まれ（35歳）

サラリーマン家庭（父はNTTに勤務）で育つ

流山市立新川小、流山市立北部中卒業

日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

2000年4月 大成建設株式会社に入社

2003年4月 流山市議会議員に初当選（一期目）

2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦（次点）

2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員（2年間）

世界や日本の地方政治・地方自治を研究

2011年4月 流山市議会議員当選（二期目）

市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味：政治（人と語る・駅頭）・読書・ノミネーション

体型：身長159.5cm・体重56.5kg

後援会事務所：流山市中野久木559-2

討議資料

## 市民の声に応える組織に。

警察機構の分権化

「道路の安全対策」をしっかりと行ってほしい・・・このような声は議員活動で最も多くいただきます。そこで解決に向けて、「さぁ動こう」というと、実は組織（県）や法律（警察法）という様々な壁にぶつかります。今回の質問はこの“大きな壁”を突破するためのアクションを市長に求めました。専門的になりますがご一読下さい。

例えば皆さんが交通安全や防犯に対する対応を求める際、基本的には議会（議員）に対して要望します。その声を受けて、我々は議会で行政側に質問（要望）します。その後、行政側はその声を受けて庁内で検討し、それを地元警察に要望します。実はそこから、千葉県警察本部（県公安）へ上げるという流れになっています。

結果として、事故が起こっている現場とその対応を決定する機関が、あまりに遠いところになっているのが現状です。結果として、改善されないといった返答なども、3ヶ月先、半年先...という課題も生じています。実際に私が認識する市内で改善すべき場所は下記の通りです。

### 森が早急に望む安全対策箇所

おおたかの森～江戸川台西への新設道路の安全対策と交差点の渋滞緩和策

おおたかの森駅西口暫定ロータリーの安全対策

南流山8丁目交差点の渋滞緩和策

向小金跨線橋周辺の安全・渋滞対策

上記4箇所のうち3箇所は千葉県や警察の権限などが絡んでおり、市だけでの対応には限界があります。

安心安全な社会を作るためには、住民に一番身近な市町村にこそ、対策を講じられる権限が必要であり、私自身も5つの提案をしながら、市長に求めていきました。法律や組織の高い壁はありますが、警察の地方主権という大きな改革に挑んでいます。

WebSite「森りょうじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

## 街づくり条例を可決！

理想の街に向け、市民が動く。

私が生まれた昭和51年頃の流山市と比較して、街の姿はだいぶ変わりました。当市に長く住まわれている方ほど、そのような気持ちをお持ちのことと思います。

街中の緑地は住宅地へ、住居は戸建てから大型マンションへ。といった具合に時代に伴う変化は本当に著しいものです。そのような現状に対し、皆さんからは次のような声を多くいただきます。

### 森に寄せられる声

緑をもっと残して欲しい

大型マンションが周辺地域の環境や景観などを壊している

住宅街に隣接する工場の騒音・悪臭が迷惑

日本の政治は“後追い行政”と言われ、問題が起きてから法律やルールを作るため、結果として住民は“泣き寝入りするしか...”という声も聞こえてきます。

そこで事態の打開策を目指し、私も所属する都市建設委員会で協議をしてきた“街づくり条例”が3月議会で可決されました。

条例の内容は多岐に渡りますが、主なものとして、開発に際しては事前に業者と地域住民による議論の場の創設、大規模面積の土地の取引に際して事前届出が必要といったことが盛り込まれている斬新的な条例です。

もちろん、この条例を使うのは市民の皆さんでもあり、そのためには市民間同士での議論も必要になってきます。価値観が多様化する現在、他人の声にも耳を傾けながら相互理解や意見集約という大きな責務が皆さんにも求められてくるわけです。

将来的な都市整備は、皆さんの関心が高いところ。今日の街並みには多くの皆さんの理解と協力があつたことも踏まえながら、これからの新たな街並みを皆さんと作り上げていきましょう。（条例は市HPに掲載）

【連絡先】 TEL & FAX: 7155 3236  
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp